( )は令和3年度当初予算額



# 福島イノベーション・コースト構想 令和4年度概算要求状況

# 【現状】

福島ロボットテストフィールドや東日本大震災・原子力災害伝承 館など、これまで整備した拠点を核とし、産業集積や人材育成、交

流人口の拡大などに一層取り組んでいく必要。

今年4月に内閣総理大臣認定を受けた福島復興再生計画に基づく 福島イノベーション・コースト構想に係る各取組について、「あら

ゆるチャレンジが可能な地域」、「地域の企業が主役」、「構想を 支える人材の育成上の三つを柱として、中長期的に対応していくこ

とが大切。

#### 第23回原子力災害からの福島復興再生協議会 (R3.8.5)(「福島イノベーション・コースト構想の推進」部分抜粋)

国際教育研究拠点の実現

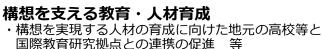
# ・長期にわたる予算・人員体制を確保等

研究開発等の推進・産業集積の促進

・廃炉、ロボット・ドローン、エネルギー・環境・リ サイクル、農林水産業、医療関連、航空宇宙の各取 組を更に推進するための予算の確保

・地元企業の参入や技術力向上の支援等による廃炉関

連産業の育成・集積の推進 等



浜通り地域等への交流人口・消費の拡大及び生活環境の整備促進

拠点施設へのアクセス道路等のインフラ整備

・研究者を始めとする従業員の移住・定住に係る予算の確保 等

## 拠点の運営等への継続的な支援

・福島ロボットテストフィールドの運営支援

・ドローン・ロボット、空飛ぶクルマの社会実装等の ための利用促進、水素ドローンの開発等の強化に向 けた支援

・東日本大震災・原子力災害伝承館が役割を永続的に 担えるための継続的な支援等

# 福島イノベーション・コースト構想推進機構への支援

・福島イノベーション・コースト構想推進機構の体制 強化と必要な予算の確保





# 【令和4年度概算要求(イノベ関連)※主なもの】

国際教育研究拠点の実現

国際教育研究拠点施設整備等推進事業

「復興庁」事項要求

#### 研究開発等の推進・産業集積の促進

く廃炉>

· 廃炉·汚染水·処理水対策事業

**〈ロボット・ドローン〉** 

・次世代空モビリティの社会実装に向けた実現プロジェクト

「経済産業省] 176億円

[経済産業省] 38億円

(新規)

(2億円)

(補正予算)

(52億円)

(1億円)

<エネルギー・環境・リサイクル> ・福島県における再生可能エネルギーの導入促進のための支援事業費補助金

[経済産業省] 61億円

・産業活動等の抜本的な脱炭素化に向けた水素社会モデル構築実証事業

[経済産業省] 78億円 (73億円)

く農林水産業>

農林水産分野の先端技術展開事業

く医療関連>

(7億円) 「農林水産省〕7億円

·福島医薬品関連産業支援拠点化事業 く航空宇宙>

「経済産業省] 23億円

(30億円) ・航空宇宙産業集積推進事業(地方創生推進交付金)[内閣府] 1,200億円の内数(1,000億円の内数)

<全般>

· 地域復興実用化開発等促進事業 福島再生加速化交付金

[経済産業省] 63億円

(57億円) 「復興庁] 708億円の内数 (721億円の内数)

構想を支える教育・人材育成

・福島イノベーション・コースト構想等を担う人材育成に関する事業

「文部科学省] 1億円

・福島イノベーション・コースト構想を支える人材育成基盤の構築(復興知の集積と進化) (4億円) 「文部科学省] 4億円

浜通り地域等への交流人口・消費の拡大及び生活環境の整備促進

・【再掲】福島再生加速化交付金(浜通り地域等産業発展環境整備事業)

**[復興庁] 708億円の内数** (721億円の内数)

### 拠点の運営等への継続的な支援

・福島イノベーション・コースト構想推進基盤整備事業(福島ロボットテストフィールド)

[経済産業省] **11億円の内数** (11億円の内数)

・原子力に関する国民理解促進のための広聴・広報事業(原子力災害等に関する情報発信・研修事業) [経済産業省] 11億円の内数 (7億円の内数)

#### 福島イノベーション・コースト構想推進機構への支援

・ 【再掲】福島イノベーション・コースト構想推進基盤整備事業

[経済産業省] 11億円の内数 (11億円の内数) (注)表示単位未満の端数については四捨五入、上記金額には本県以外も含む場合がある。